

骨髓バンク

日本骨髓バンク骨髓提供希望者（ドナー）登録者数：134,966人（県内1,977人）
 骨髓移植希望者（患者数）：1,625人（県内35人）
 バンクを通じての移植例数：3,205例（県内移植数51例、県内採取数48例）
 （2001年2月現在）

茨城県庁登録結果報告（H13,1,18）

1月18日に県庁職員を対象とした初めての庁舎内登録会が開催されました。当日は早朝7時に集合というクレージーな条件にもかかわらず、事務局長夫妻を始め、立原さん・中津川さん・佐々木さん・佐藤（朗）さん・稲川さんら8名の方々にご参加いただきましたが、皆様のご努力のおかげで32名という過去の県内実績の最高記録に並ぶ素晴らしい実績を挙げる事ができました。以前から県庁内開催を県行政に強く要請してきた手前もあり、少ない実績に止まったらどうしようという事前の心配を吹き飛ばすかのように10時の受付開始早々から続々と職員の方々が登録に訪れてくれ、午前中だけで18名の登録がありました。

薬務課職員の方も多数参加しての早朝7時30分からの県庁と県警本部各入口合計4ヶ所でのチラシ配布は、厳しい冷え込みの中で寒さに震えながらのつらい1時間でしたが、結果としてこれが大きな効果を挙げたようです。登録するほとんどの職員の方がチラシを受け取ってくれ、十分な手応えを感じました。薬務課作成の県内登録場所を記載したパンフレットも一緒に配布しましたので、今回は登録を見送った方も献血ルームなどで登録してくれることを期待したいと思います。

当日は茨城新聞の藤枝記者が取材に訪れてくれ、翌日の記事には「全国最多の32人協力」の文字が見出しに踊っていました。私のコメントの「行政が積極的に取り組んでくれる」という部分もちゃんと書いてくれていて、早速に薬務課寺島さんからもお礼のTELがありました。職務ながら寺島さんのご努力が報われた形となり、誠に喜ばしいことです。

当県では実に良好な形で行政との関係が築かれつつあり、当会と行政の歯車がうまく噛み合っただけで県内での登録者数増加に結びついていくことが期待されます。行政との関係が良好なこの時期にできるだけ多くの実績をつくり、県内での活動を軌道に乗せたいと考えています。そうした活動を実のあるものにするには会員の皆様のお力添えが是非とも必要です。今年もどうかよろしくお祈りいたします。まずは県庁登録大成功、バンザイ！（牛島）

発行：

骨髓バンクを支援するいばらきの会

発行責任者：牛島英二
 編集：山崎揚久・落合佐智世
 ホームページ：<http://www.marrow.or.jp/ibaraki/>
 事務局：〒311-1415
 茨城県鹿島郡旭村造谷605
 くるみ屋内
 TEL：090-8306-7111
 FAX：0291-37-1425
 E-mail：
yamazaki@kurumiya.com

目次:	PAGE
茨城県庁登録結果報告	1
第4回公開フォーラム	2
いばらきツアー報告	2
説明員研修会結果報告	3
次回定例会案内	3
平成13年度総会案内	3
キソフイェイナル案内	3

ドナー登録者30万人をめざして！

第4回公開フォーラム参加報告 (H13,2,11)

いばらきの会の活動に参加させていただくようになってから数ヶ月。骨髄バンクについて右も左もわからない私が、突然最前線の議論に放り込まれて、放心状態のままフォーラムが終わってしまったというのが本当のところでした。

私は骨髄バンクというシステムはある程度完成されたものだと思っていました。この思いこみは、TVCMやポスターなどで大々的に宣伝しているのだから、きっとちゃんとした組織が円滑に運営しているだろうという勝手な私の解釈から来ていたものです。でも、フォーラムに出て、まだまだ骨髄バンクというものは完成されたものではなく、むしろ、今、抜本的な改革が必要なときに来ているということが身にしみてわかりました。厚生省、赤十字、財団、協議会、さらにボランティア団体と、多くの団体関わっているために、役割や財源の問題に行き違いが表面化し、どうにもならないところに来てしまっているように感じました。一番驚いたことは、ドナー勧誘のほとんどをボランティアが担っている実情です。いばらきの会に参加したということは、骨髄提供を待つ方々の命が私の肩にもものしかかっているということなのです。今までの活動における自分の甘さを痛感しました。一ボランティアの私にシステムの抜本改革は出来ませんが、骨髄バンクに関わる皆さんの切実な気持ちだけはしっかり受け止め、これからも活動していけたらと思っています。(落合)



説明員養成研修会の様子

写真上：山崎夫妻によるロールプレイ

写真下：牛島さんの講義。

皆さん真剣です！

いばらきツアー報告 (H13,3,17-18)

3月17日と18日の二日間、千葉の会、埼玉の会、東京の会、茨城の会の会員約13名で、袋田の滝と水戸の偕楽園をまわるツアーを行いました。当初の予定では去年の12月に行われる予定でしたが、諸事情によりこの二日間となりました。このツアーでは、日ごろ皆さんが骨髄バンク運動に励んでおられるという事で、この辺でちょっと一息入れて(決して悪い意味ではありません)明日への活力にしよう、という目的で企画されたものでした。

私は仕事の関係上、一日目しか参加できませんでしたので、この日のみの報告となります。

この日は参加された皆さんの日ごろの行いが良かったおかげで(晴れ女、晴れ男が全員そろっていたとも言いますが)、ほとんど雲ひとつない良いお天気で、絶好の行楽日和(?)でした。

朝の9時40分ごろ、日立市にあるJRの駅に電車で来られた千葉の会、東京の会の方々をお迎えし、その後、当会会長の牛島さん(車です)と合流し、その足で日本三大名瀑のひとつである袋田の滝へと向かいました。この時期、完全氷結がそれはそれで見ごたえがあるのですが、昨日は完全氷結ではなく、半氷結の状態でしたがこれもまた趣があり、とても良いものでした。その後、水戸黄門でおなじみの西山荘に立ち寄り、夕方5時ごろには当会事務局長、山崎さん自営の



「くるみ屋」さんに到着。ここで、埼玉の会の方と合流。

その後、約一時間ほど千葉の会の方を講師にむかえ、ペンシルバルーンの講習会となりました。6時すぎからはエンドレスの「朝まで……」の懇親会を行い、親睦を深めました。

最後になりましたが、千葉の会、埼玉の会、東京の会でこのツアーに参加された方には、遠路はるばるお越し頂き、大変有難うございました。いたらない点があったとは思いますが、これを機会に第二回、第三回と続けていきたいと思っておりますので、これに懲りずに、次回以降もぜひ御参加くださいますよう、お願い致します。

(中津川)

説明員養成研修会報告 (H13,3,18)

去る3月18日(日)、日立市の多賀市民会館において説明員養成研修会が行われました。この研修会の目的は、財団が掲げている30万人のドナー登録を早い段階で達成させるためのキャンペーン登録会の拡大に伴い、通常財団関係者のみに与えられていた説明員の資格をボランティアの方に養成ならびに認定をすることで、登録会の促進ならびに骨髄バンク事業の一層の促進を図ることです。

当日は、地区普及広報委員でもある牛島さんを講師にむかえ、約5時間にわたる講義を行いました。内容としてははじめに、資料を使った骨髄バンクに関する一般基礎知識、次に実際の登録会を想定したロールプレイング(牛島さんと私で見本を示し、その後参加者によるシミュレーション)、最後に基礎理解度テストへと続けました。

この講義の後、2回の実地研修を経て財団関係者の審査で説明員としての資質が認められて、初めて説明員としての資格が与えられるわけですが、この日は参加された方はみな真剣に講義を受講されていました。実地研修第1回目は5月13日に行われるキリンビール取手工場でのイベントです。

最後になりましたが、参加された皆さん、当日は大変お疲れ様でした。なおこの日は研修会の後、恒例の定例会(?)へと続き、交流を深めました(落合さん初参加!!)。この日の参加者は牛島さん、山崎夫妻、瀧さん、佐々木さん、佐藤(朗)さん、落合さん、中津川の計8名でした。(中津川)



「骨髄バンクを支援する いばらきの会」からの ご案内

各会にご参加の方及びお問い合わせは
Eメールyamazaki@kurumiya.comまたは携帯
090-8306-7111(山崎)へご連絡ください。

定例会のご案内 (どなたでも気軽に参加できます)

日時: 4月22日(日)PM7~9時(予定)
場所: デニーズ水戸城南店(駅から徒歩5分)
*水戸市城南2-8-22(水戸オリエンタル
ホテル1F)駐車場有
*水戸駅南口正面の橋を渡り、一つ目の交差点
を左折し200mほど歩いたところ

平成13年度総会のご案内

平成13年度総会を下記の通り開催いたします。今年も昨年同様、くるみ屋さんに宿泊して翌日は取手キリンフェスティバルに直行する予定です。これからの当会の活動について大いに語り合いたしましょう。多くの会員の方々のご参加をお待ちしています。

日時: 5月12日(土) 19時より
場所: 旭村 くるみ屋 (いばらきの会事務局)
議事: 1) 昨年度活動報告、会計報告、同監査報告
2) 今年度活動計画、予算承認
3) 役員改選その他
参加費: 5000円(一泊二食付き)

2001 キリンフェスティバルのご案内

今年もキリンビール取手工場でのキリンフェスティバルに参加いたします。今回はドナー登録会を予定しており、人手が足りませんのでご協力を!!

開催日時: 5月13日(日)9:00~16:00
(雨天決行)
場所: キリンビール(株)取手工場
取手市桑原188-1(6号国道沿い)
参加内容:
献血並行型骨髄バンクドナー登録会(予定)
ペンシルバルーンでのチャリティー募金
バルーン用のポンプ持っている方は忘れずに!

事務局から御協力のお願い

各皆様方のお住まいになっている各市町村や企業などでのイベントがありましたらお知らせください。骨髄バンクのPRに役立てたいと考えております。

切手や年賀はがき等で書き損じがありましたら、活動資金に役立てますので、事務局まで郵送ねがいます

新年度年会費納入のお願い

皆様からの会費は大切な運動資金です。有効に活用致します。また善意のご寄付もよろしくお願ひ申し上げます。

年会費 一口 2,000円 何口でも

会費納入とご寄付をありがとうございました

(2000年1月10日～2001年4月10日現在) (順不同敬称は略させていただきます。)

寄付：落合佐智世4,000円・稲川久美子3,000円・江尻明美5,000円

会費：稲川久美子

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年2,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

骨髄バンクのボランティアを応援してください

郵便振替口座名義 00110-3-127575

加入者名義 骨髄バンクを支援するいばらきの会

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。

ハローキティは骨髄バンクを応援します あなたの愛車にはってね

骨髄バンク車用ステッカー(100×250mm)+ミニステッカー付き

300円/枚(税込、送料別)

*10枚以上ご注文の方は送料無料



白血病などで骨髄移植を希望する患者さんのために、健康な方の白血病の型(HLA型)と善意を集めておくところが骨髄バンクです。ドナー登録者30万人を目指しておりますが、まだまだ登録者が足りません。この度、(株)サンリオ様の協力により左図の骨髄バンク啓発ステッカーが完成しました。このステッカーを貼って、骨髄バンクの応援をしてくださいますか?

ステッカーのご注文は下記、またはお近くの骨髄ボランティア団体まで。

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会 事務局

〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21 9階

TEL (03)3356-8217 / FAX (03)3356-8637 / E-mail : office@marrow.or.jp